

2017年度 決算説明会

2018年7月19日

 **佐鳥電機株式会社**

(証券コード：7420)

代表取締役社長兼CEO
佐鳥 浩之

目次

1.2017年度 決算概況

2.中期経営計画 進捗状況

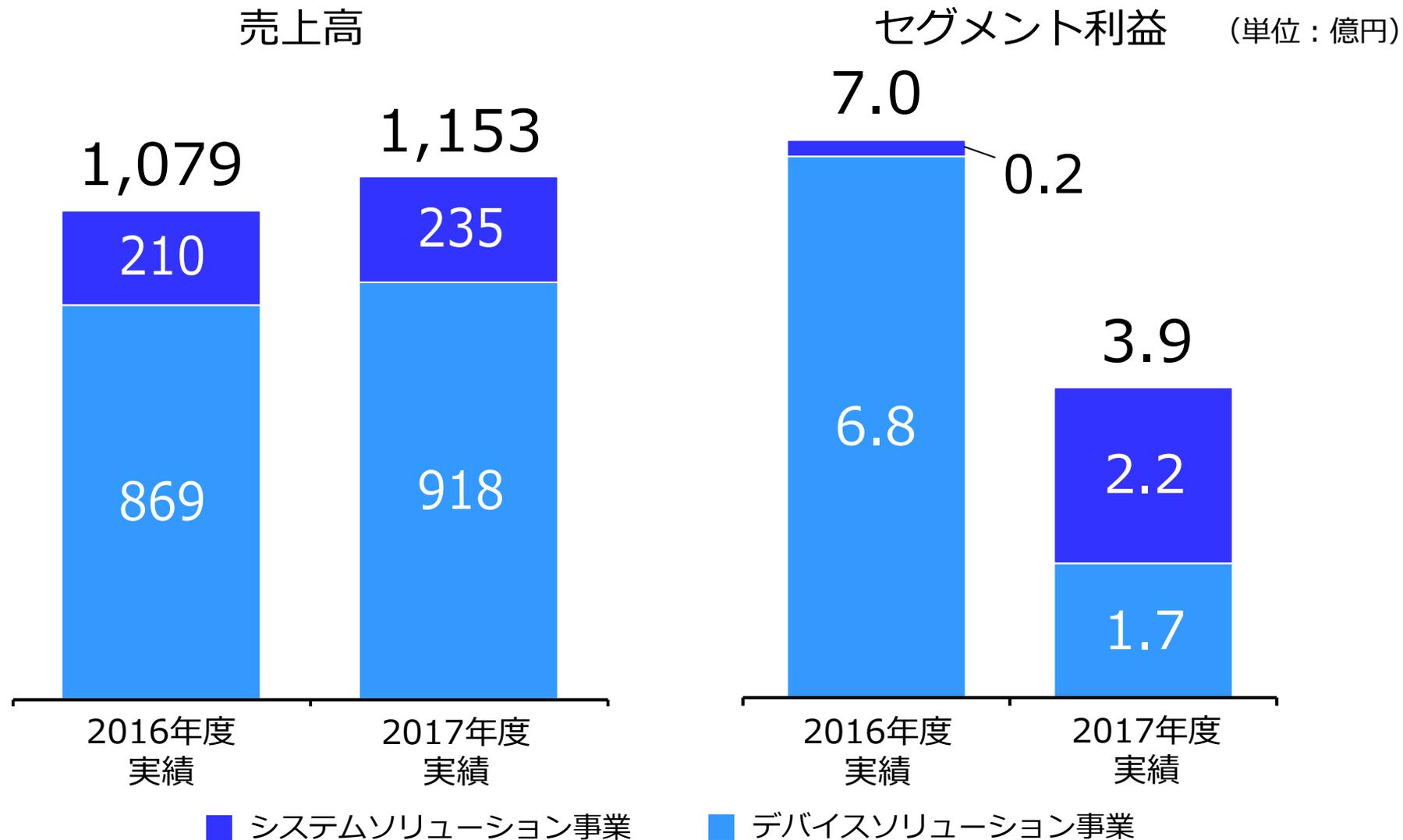
3.2018年度 業績予想

1. 2017年度 決算概況

2017年度 決算概況（連結）

(単位：億円)	2016年度 実績	2017年度			
		修正予想※	実績	前年同期比	修正予想比
売上高	1,079	1,166	1,153	107%	99%
粗利率	8.6%	8.6%	8.4%	98%	98%
販管費	85.7	90.7	93.3	109%	103%
営業利益 (同率)	7.0 (0.7%)	9.0 (0.8%)	3.9 (0.3%)	56%	43%
経常利益	4.8	9.0	2.9	60%	32%
当期純利益	2.2	7.5	2.2	99%	29%
月平均為替レート (US\$/¥)	108.9円	110.8円	110.5円		

2017年度 セグメント別損益推移

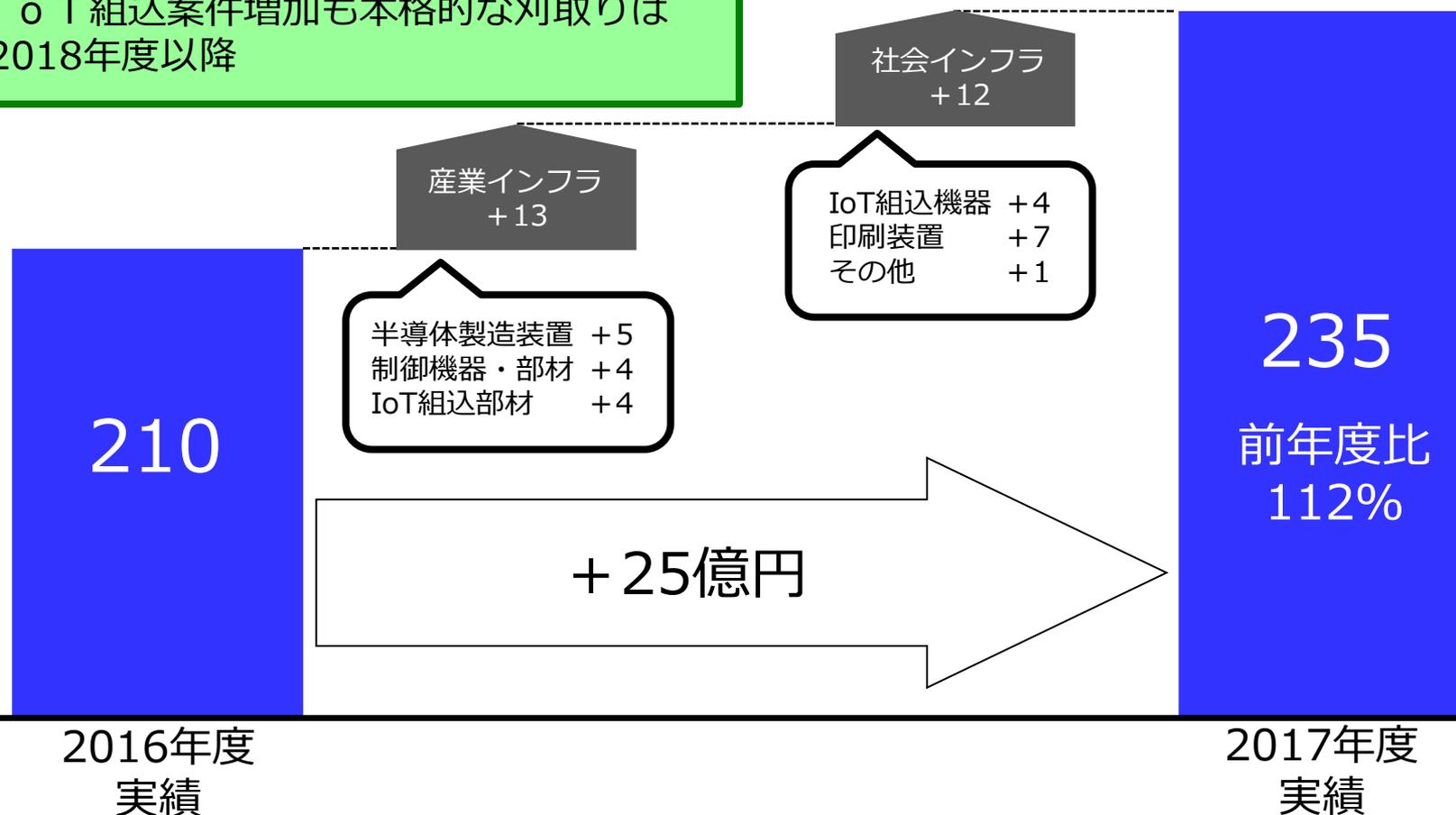


2017年度 セグメント別 売上推移 (システム)

■ システムソリューション事業 (増収+25億円、増益+2億円)

- ・半導体、産業機器好調による部材需要増
- ・IoT組込案件増加も本格的な刈取りは2018年度以降

(単位：億円)



2017年度 セグメント別 売上推移 (デバイス)

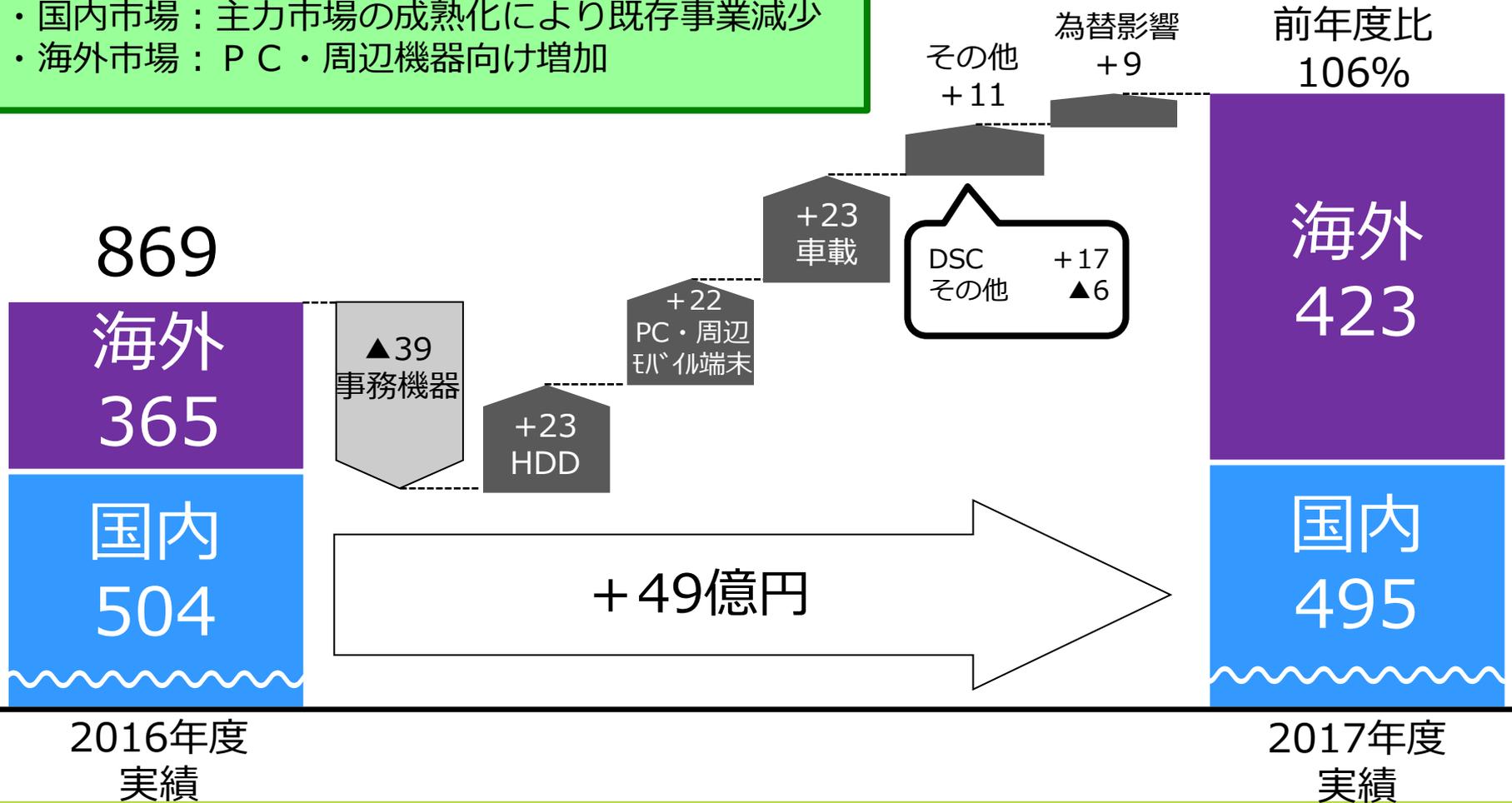
■ デバイスソリューション事業 (増収+49億円、減益▲5.1億円)

- ・ 国内市場：主力市場の成熟化により既存事業減少
- ・ 海外市場：P C・周辺機器向け増加

(単位：億円)

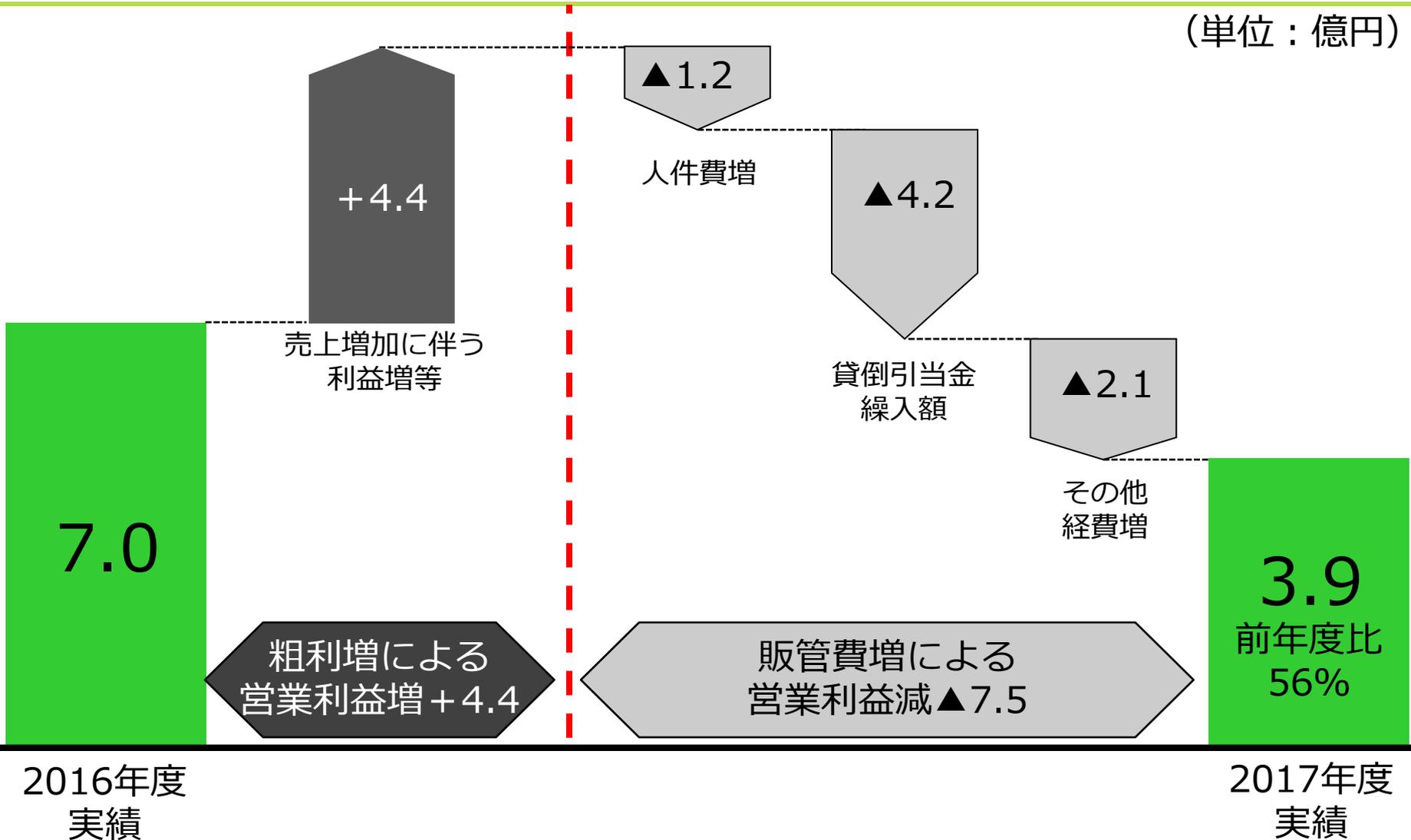
918

前年度比
106%



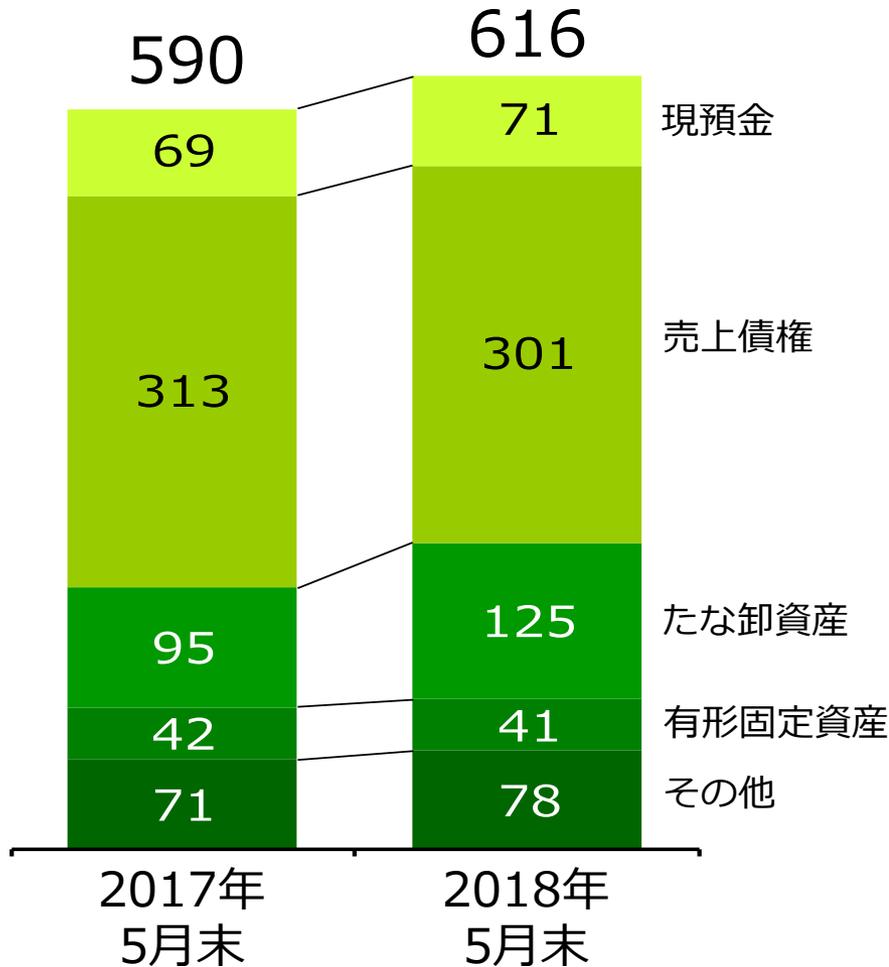
2017年度 営業利益変動主要因

(単位：億円)



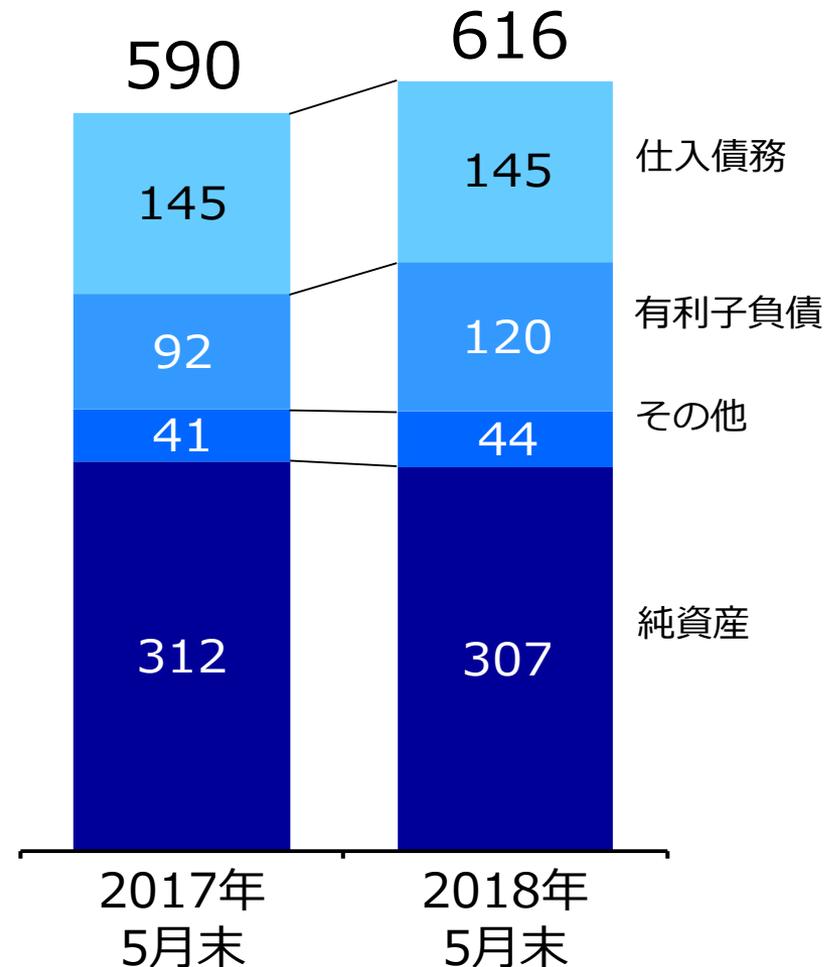
2017年度 B / S 概要

資産の部



負債・純資産の部

(単位：億円)



2. 中期経営計画 進捗状況

中期経営計画の進捗概況

当初最終年度計画は2019年度にて達成

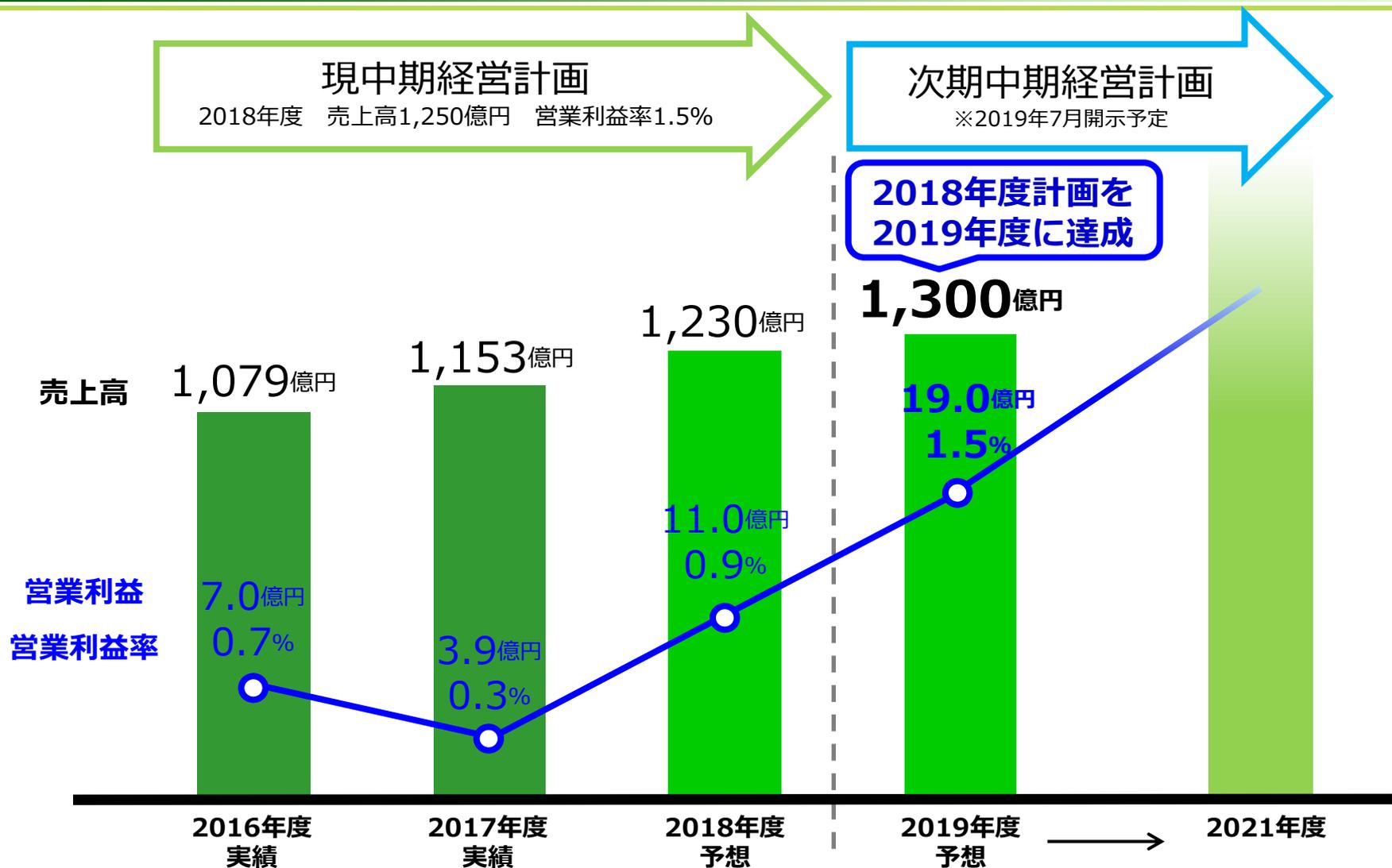
◆ポジティブ要因

- ・ デバイス戦略商材は計画通り伸長
- ・ 調達マネジメントビジネス開始

◆ネガティブ要因

- ・ 国内通信顧客の想定以上の需要減
- ・ 仕入先の当社主要事業領域からの製品撤退
- ・ 自社製品の売上後倒し
- ・ I o T 関連商談は着実に増加も立上げ遅れ

中期経営計画の達成時期の修正



中期事業戦略



2018年度 対処すべき課題

2016年度 2017年度

2018年度

中期経営計画スタート

【システムソリューション事業】

- ・ 産業マーケットを主領域としたIoTビジネスの拡大
- ・ 収益力向上のための自社製品事業の強化

【デバイスソリューション事業】

- ・ 戦略商材の強化・拡充
- ・ 地域密着型の事業運営による海外売上比率の拡大
- ・ 海外リスク管理体制強化

アライアンス&コラボレーション強化

事業効率改善と経営資源再配分

強固な事業基盤作り

事業ポートフォリオ (目指す方向性)

収益性

安定収益事業

効率化により着実な利益創出
営業利益率を追求

デバイス
(国内)

収益ドライブ事業

システム
ソリューション

リソースを集中
利益を牽引

売上拡大により着実な利益創出
営業利益額を追求

デバイス
(海外)

デバイス
(戦略商材)

収益回復事業

安定収益事業

成長性

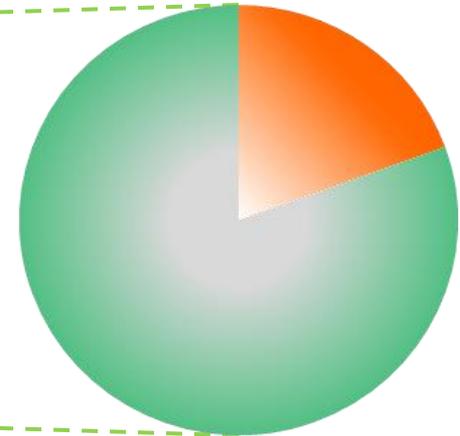
収益力の強化

2016年度実績

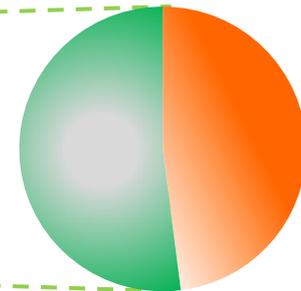
2019年度予想

目指す方向性

売上高



営業利益



システム事業



デバイス事業

資本効率の向上と株主還元

収益性の向上

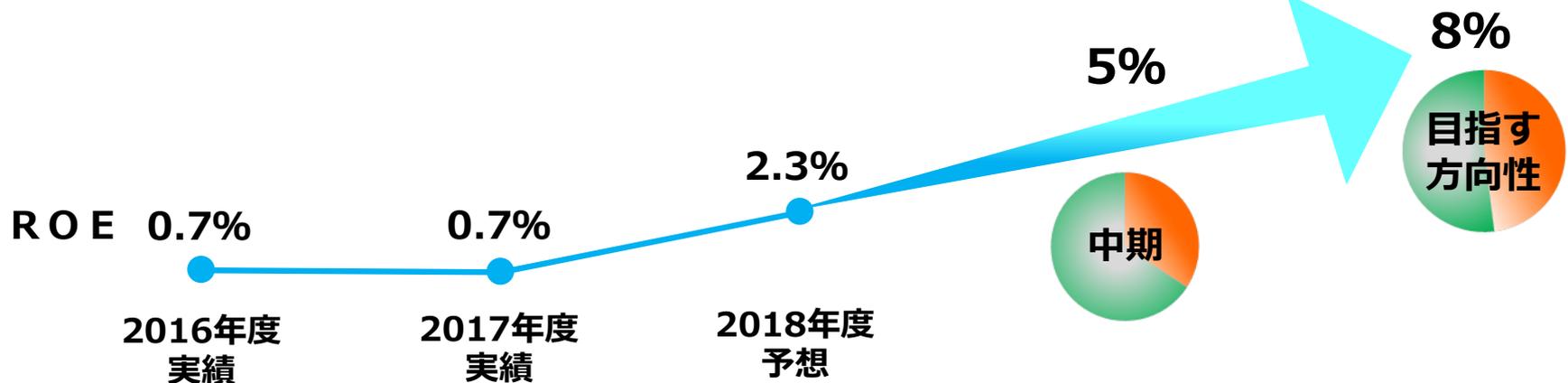
- ・「収益ドライブ事業」集中
- ・「安定収益事業」効率化

株主還元

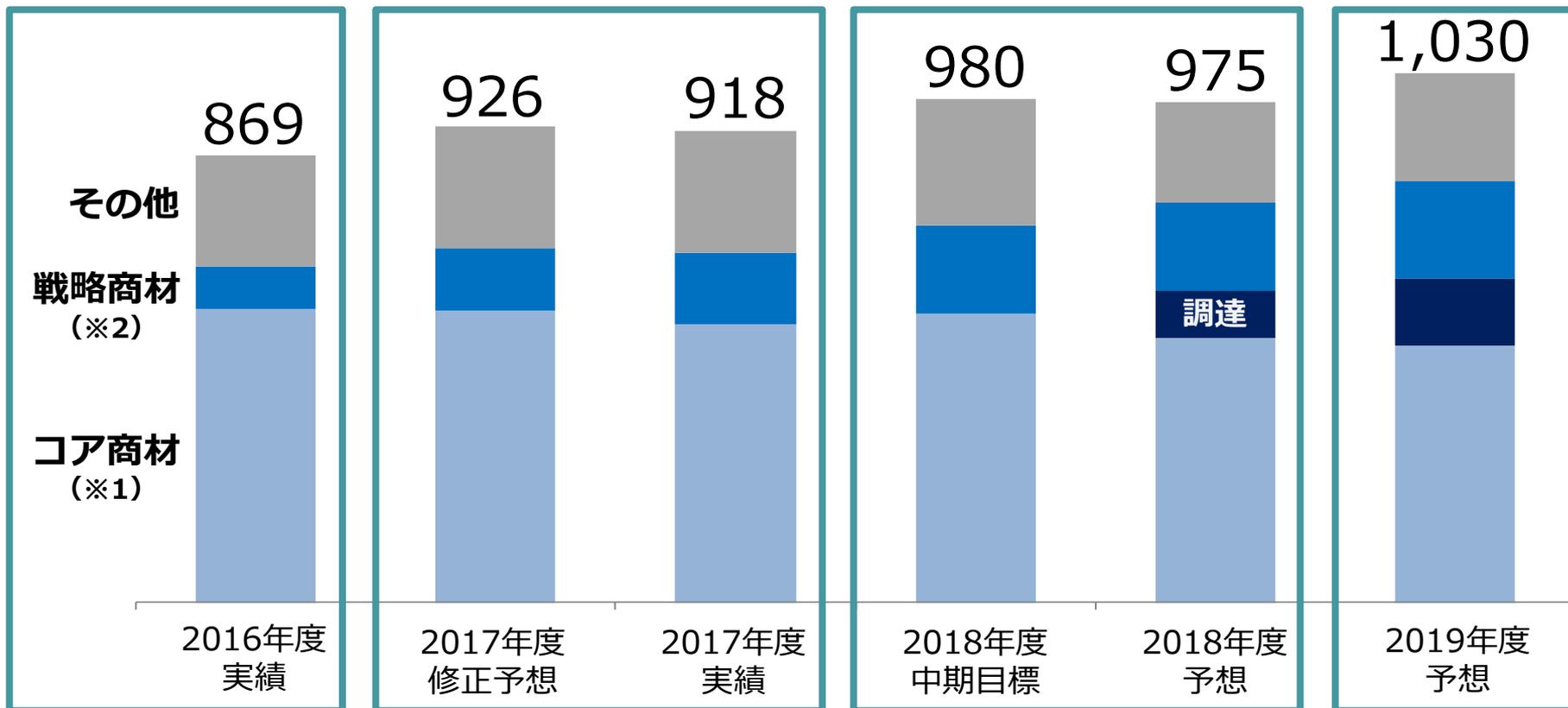
- ・ 安定的、継続的な配当
配当性向 30%→50%
- ・ 自己株式取得

資産効率の改善

- ・ 売掛債権の流動化拡大
- ・ 財務レバレッジ活用

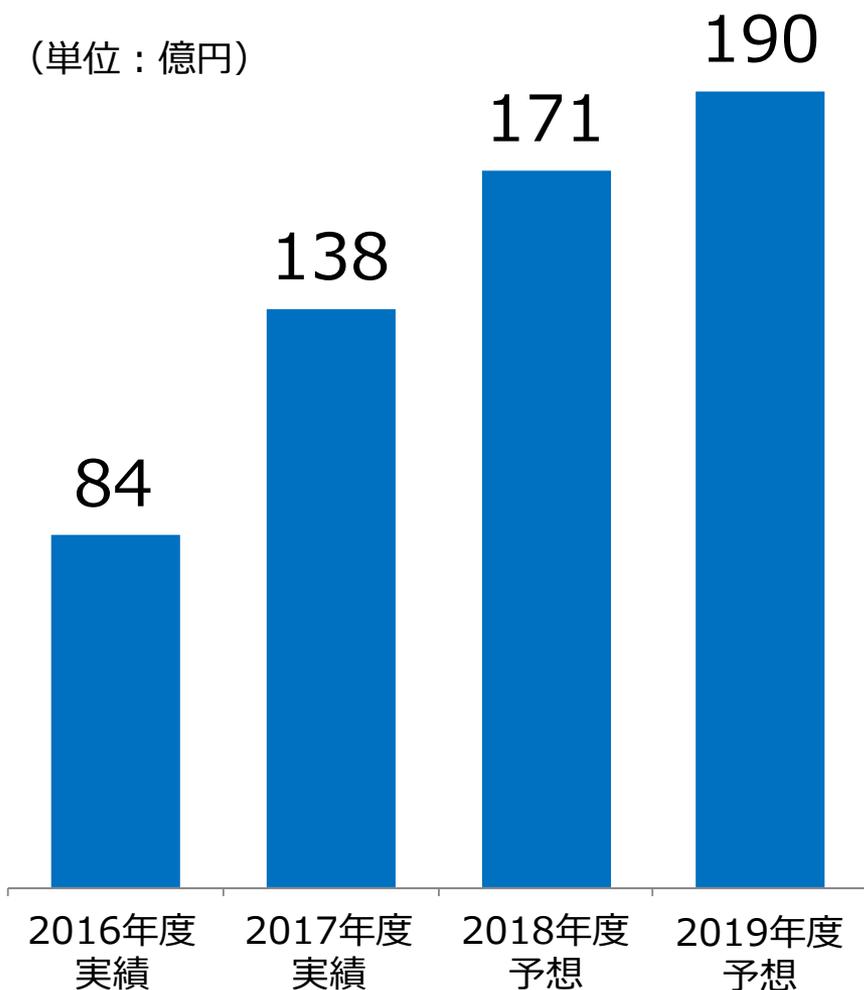


- ・戦略商材はストレージ、車載が堅調に推移し、計画以上に進捗 (単位：億円)
- ・コア商材は需要減及び単価減により減少
- ・コア商材減少分は「調達マネジメントビジネス」にて成長性を確保



※1 コア商材：ルネサスエレクトロニクス、NECグループ、パナソニックグループ、トーキン、住友電工グループ製品
 ※2 戦略商材：ウエスタンデジタルグループ製品他

(単位：億円)



計画通りに売上拡大

■ ストレージ

- ・ 専門会社設立による事業加速
- ・ WD社(※1)全製品の取扱い開始
- ・ HDD→フラッシュメモリ置換需要取込み

■ 車載用半導体

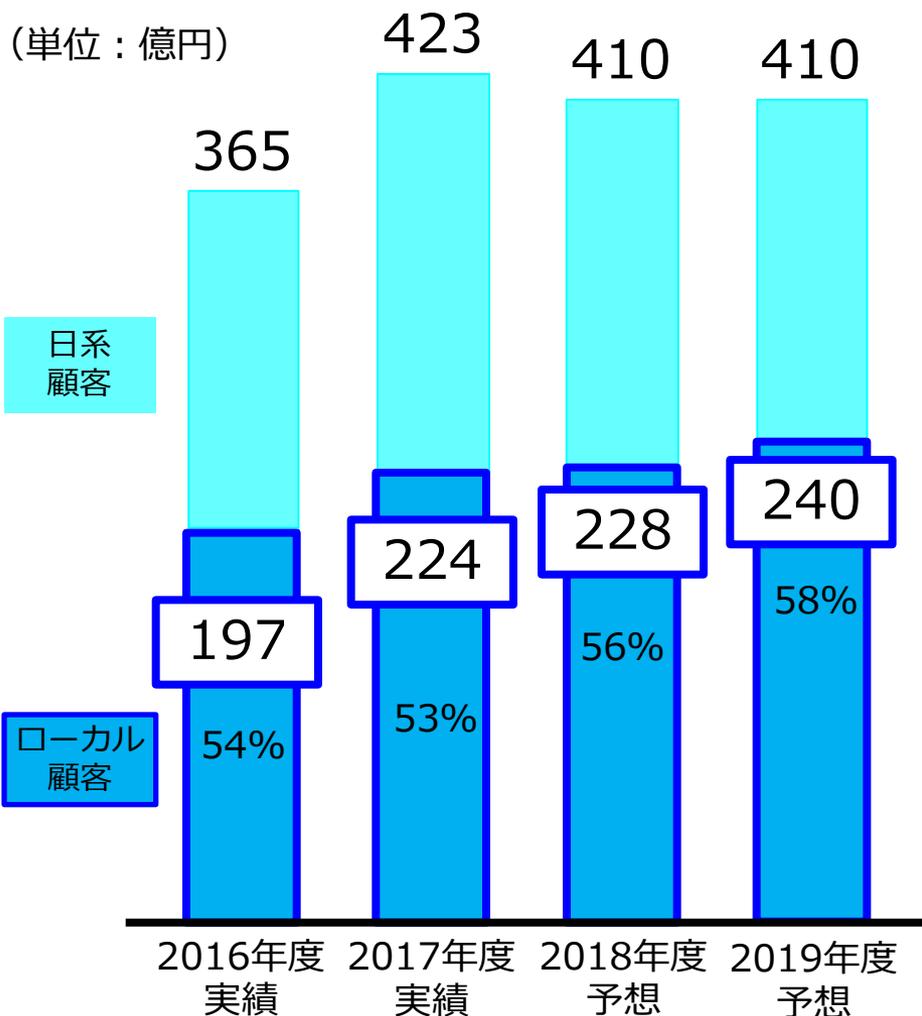
- ・ C A S E(※2)加速→ビジネス拡大
- ・ 名古屋技術サポートセンター設置

■ 全固体電池・薄型電池

- ・ 安全、フレキシブルな特徴を活かしP C、車載領域への販売拡大

※1 Western Digital (ウエスタンデジタル) 社

※2 C(Connected),A(Autonomous),
S(Shared&Services),E(Electric)の略称

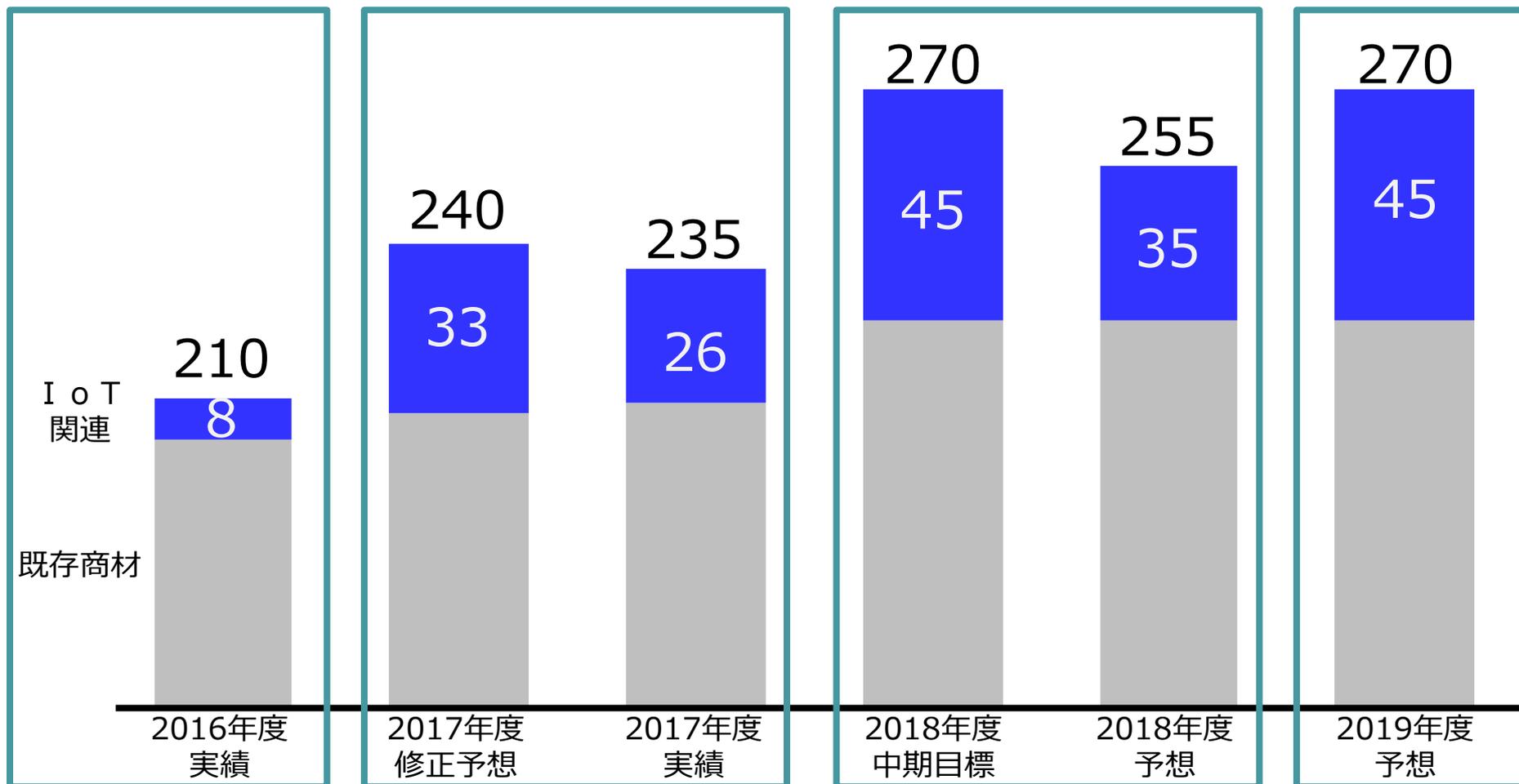


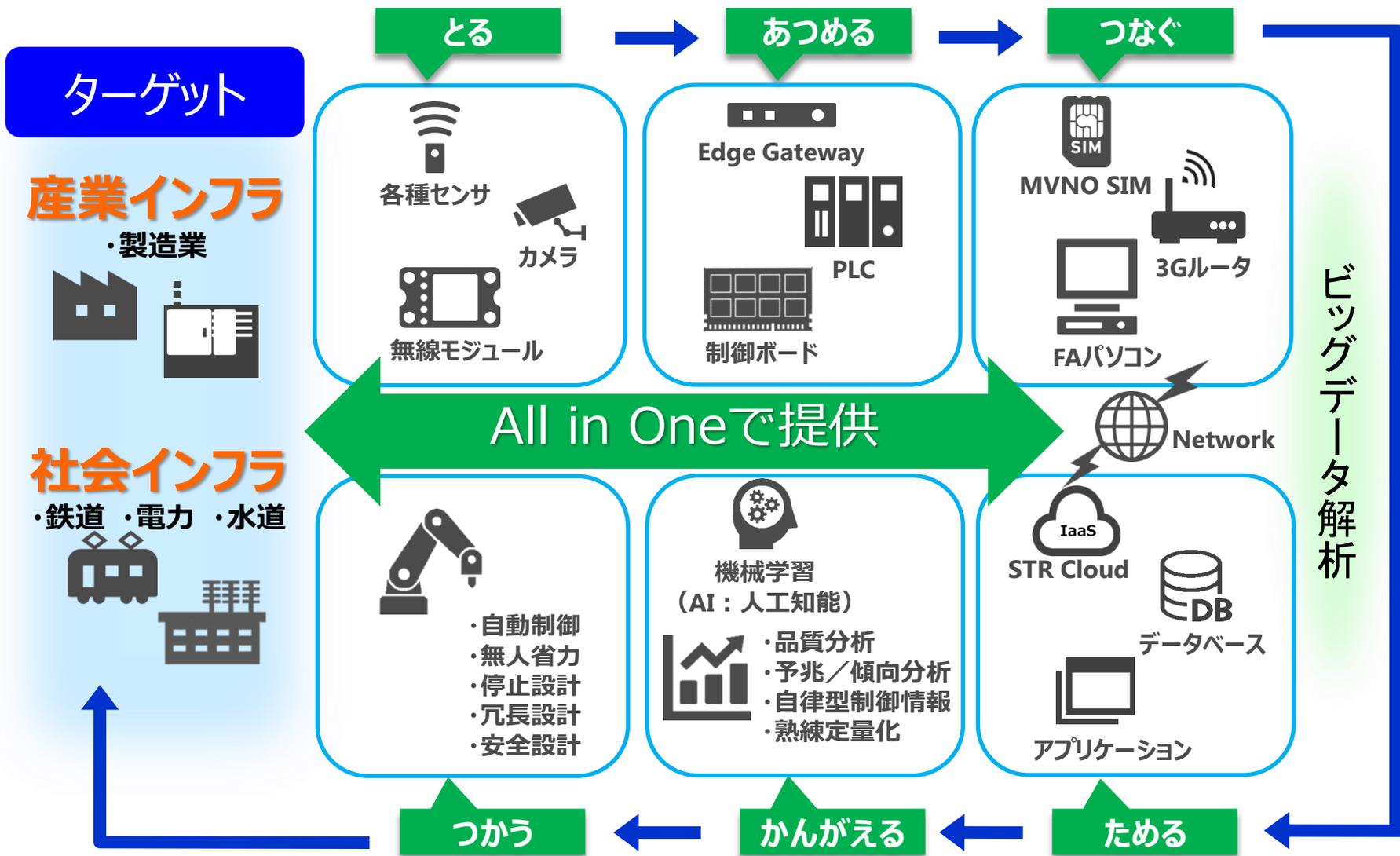
ローカル顧客比率は 着実に伸長

- ・ P C、タブレット向け電子部品
シェア拡大
- ・ 成長市場への集中
(車載・産業・メディカル)
- ・ 中華圏新拠点設置検討
- ・ 自社製品の海外展開企画開始

- ・ 既存商材は、半導体、産業機器好調により需要増加
- ・ I o T 関連ビジネスは、市場の立上り遅延により、当初見込みより減少

(単位：億円)





特殊車両向け導入事例

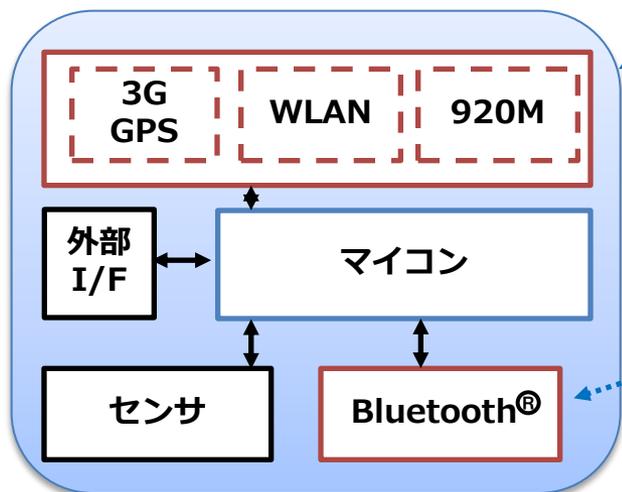
実証実験開始

データ収集無線通信機器（I o T 機器）導入

- ・車両情報（バッテリー残量、衝突検知、速度等）の稼働情報管理
- ・スマホ連動による運転者管理、衝突防止アラーム等のサービス提供

当社提供の I o T 機器を
特殊車両に組込

3G/WLAN/920M 経由



当社提供範囲

オフィス



建機、重機、特殊輸送車両等への水平展開検討

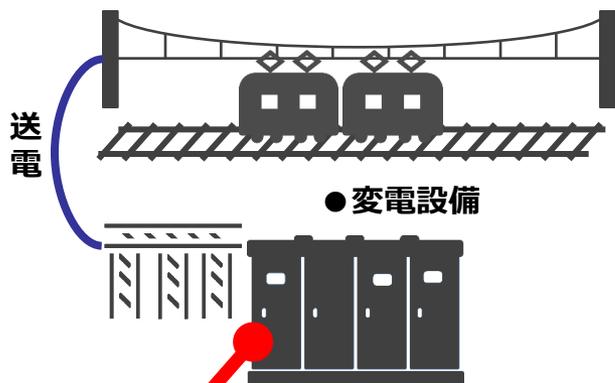
鉄道会社向け事例

実証実験中

鉄道会社の変電設備に自社製絶縁監視装置（Leakele）をセンサとして導入し、状態表示、予兆監視等のサービスを実現

当社提供範囲

■ 鉄道会社



● 自社製絶縁監視装置

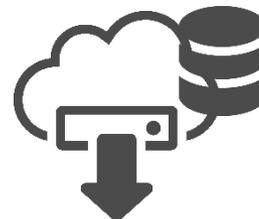


無線通信機



■ 佐鳥データセンタ

STR Cloud



将来的な活用 (AI)



主な機能

状態表示



予兆監視

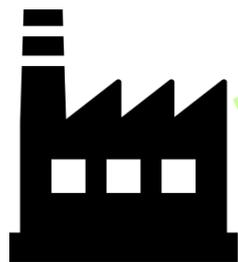


電力中央監視連携



コア技術活用による製品ラインアップ拡充と市場開拓

中期売上目標：6億円



大手製造業への
水平展開



リーケル
Leakele TrueRΩ

コア技術
高精度の絶縁監視を
実現したTrueR方式

電気保安協会向け
カスタム化



LeakeleDH

海外市場向け
製品企画中



鉄道市場攻略
対象：3000駅超



ビル管理会社との
コラボによる拡大



2018 Japan IT Week 第7回IoT/M2M展【春】

2018年5月9日～5月11日



出展商品例

LoRa + Raspberry Pi(カスタムPC)
センサソリューション



- 自社製品 ・ 920MHz無線モジュールシリーズ ・ RS-485無線通信ユニット
 取扱い商品 ・ LPWA(LoRa)ソリューション ・ Sigfoxモジュール 等展示

佐鳥 S P テクノロジ設立

ストレージ事業の強化・拡大のため2018年3月に設立
2018年8月より調達マネジメントビジネス開始予定

佐鳥SPテクノロジー

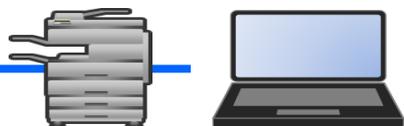
ストレージビジネス



トータルストレージソリューション

調達マネジメントビジネス

グローバルに半導体を調達
効率的な業務オペレーション



事務機器 PC
既存領域



車載 データセンター
成長領域

業務・資本提携

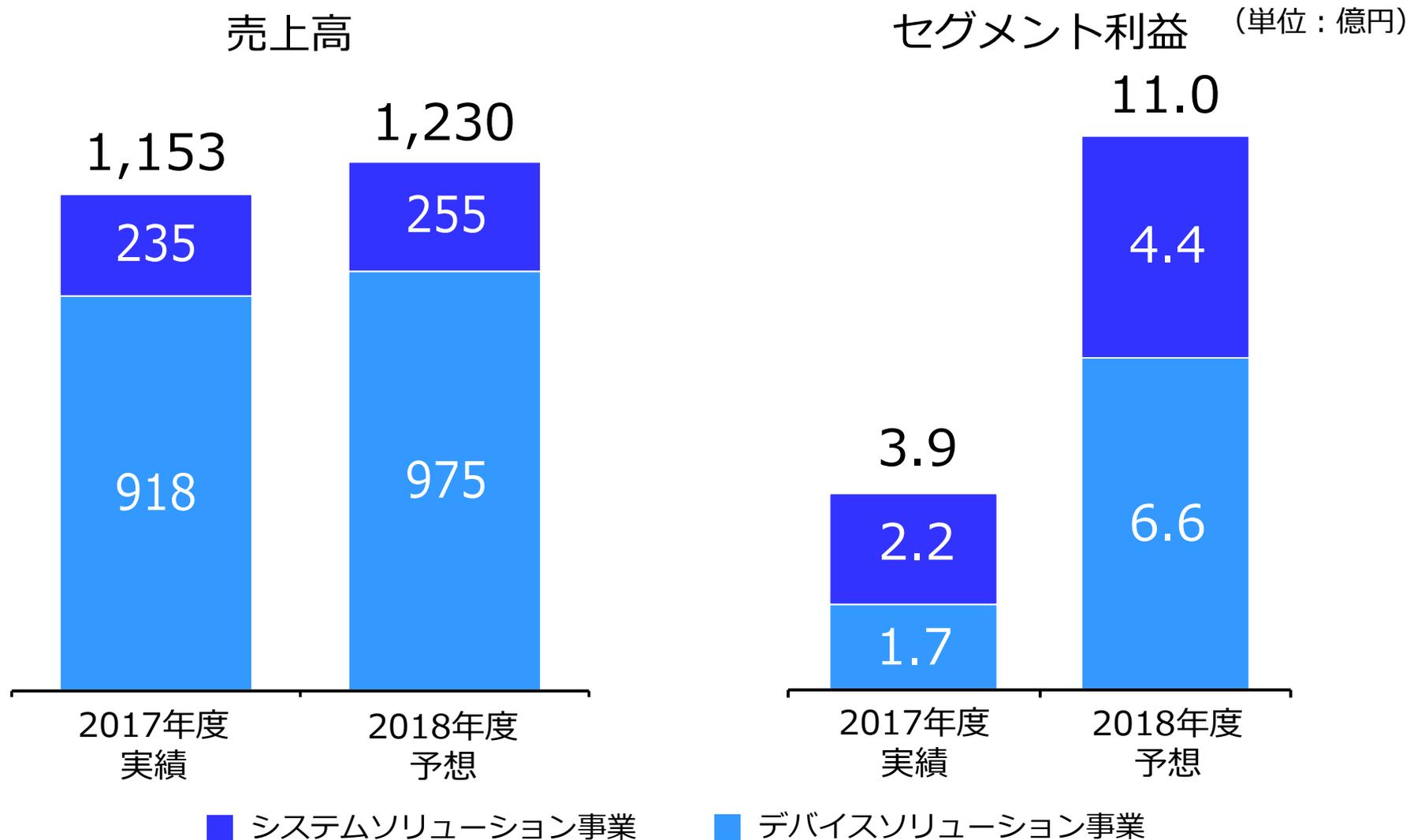
Panasonic社

3. 2018年度 業績予想

2018年度 業績予想（連結）

(単位：億円)	2016年度 実績	2017年度		2018年度	
		実績	前年度比	予想	前年比
売上高	1,079	1,153	107%	1,230	107%
粗利率	8.6%	8.4%	98%	8.3%	99%
販管費	85.7	93.3	109%	91.0	98%
営業利益 (同率)	7.0 (0.7%)	3.9 (0.3%)	56%	11.0 (0.9%)	276%
経常利益	4.8	2.9	60%	9.5	326%
当期純利益	2.2	2.2	99%	7.0	317%
月平均為替レート (US\$/¥)	108.9円	110.5円		105.0円	

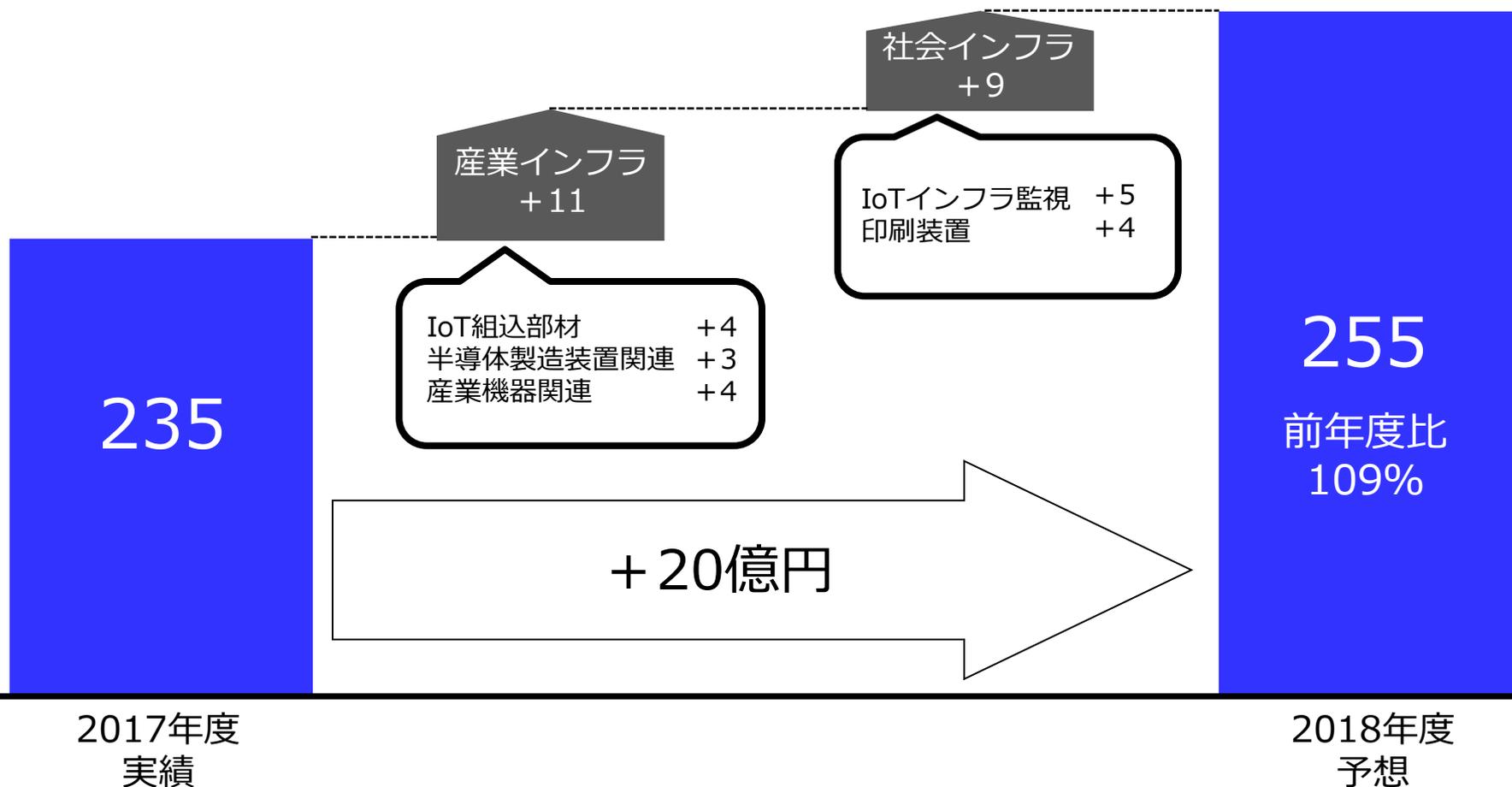
2018年度 セグメント別損益推移



2018年度 セグメント別 売上推移 (システム)

システムソリューション事業

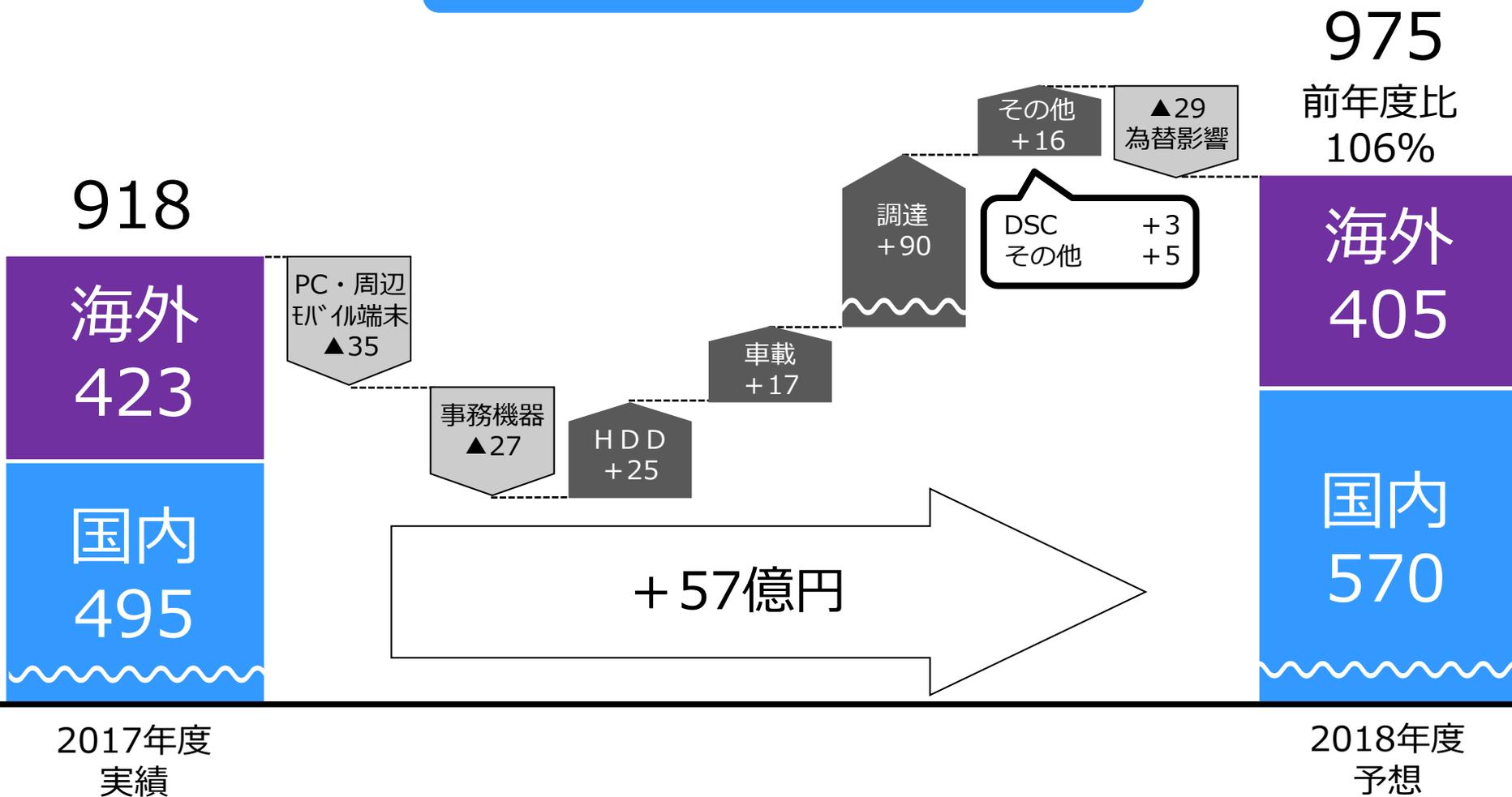
(単位：億円)



2018年度 セグメント別 売上推移 (デバイス)

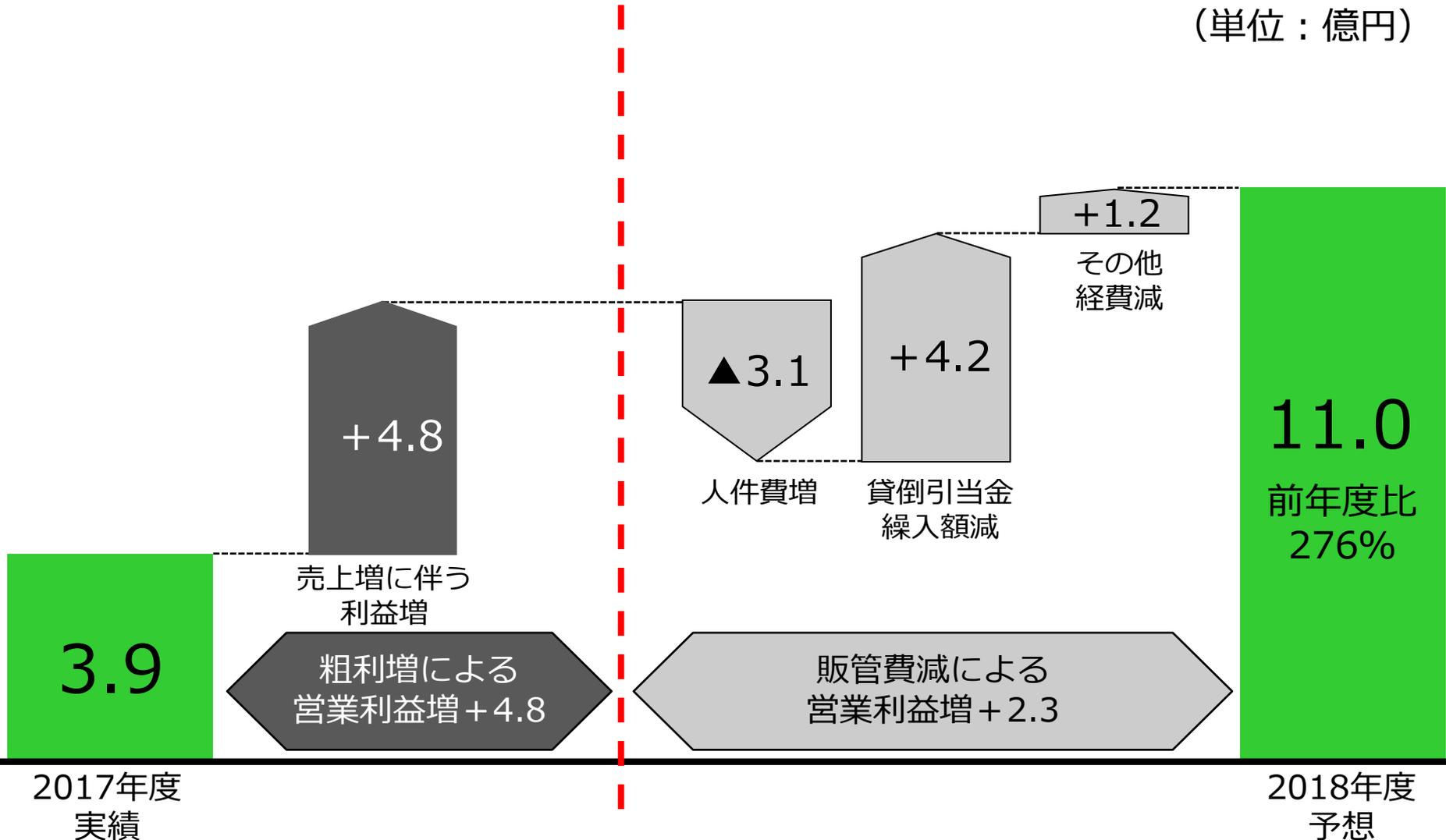
デバイスソリューション事業

(単位：億円)



2018年度 営業利益変動主要因

(単位：億円)



配当について

	2017年度 実績	2018年度 予想
中間	16円	18円
期末	18円	20円
年間	34円	38円

資料取扱い上のご注意

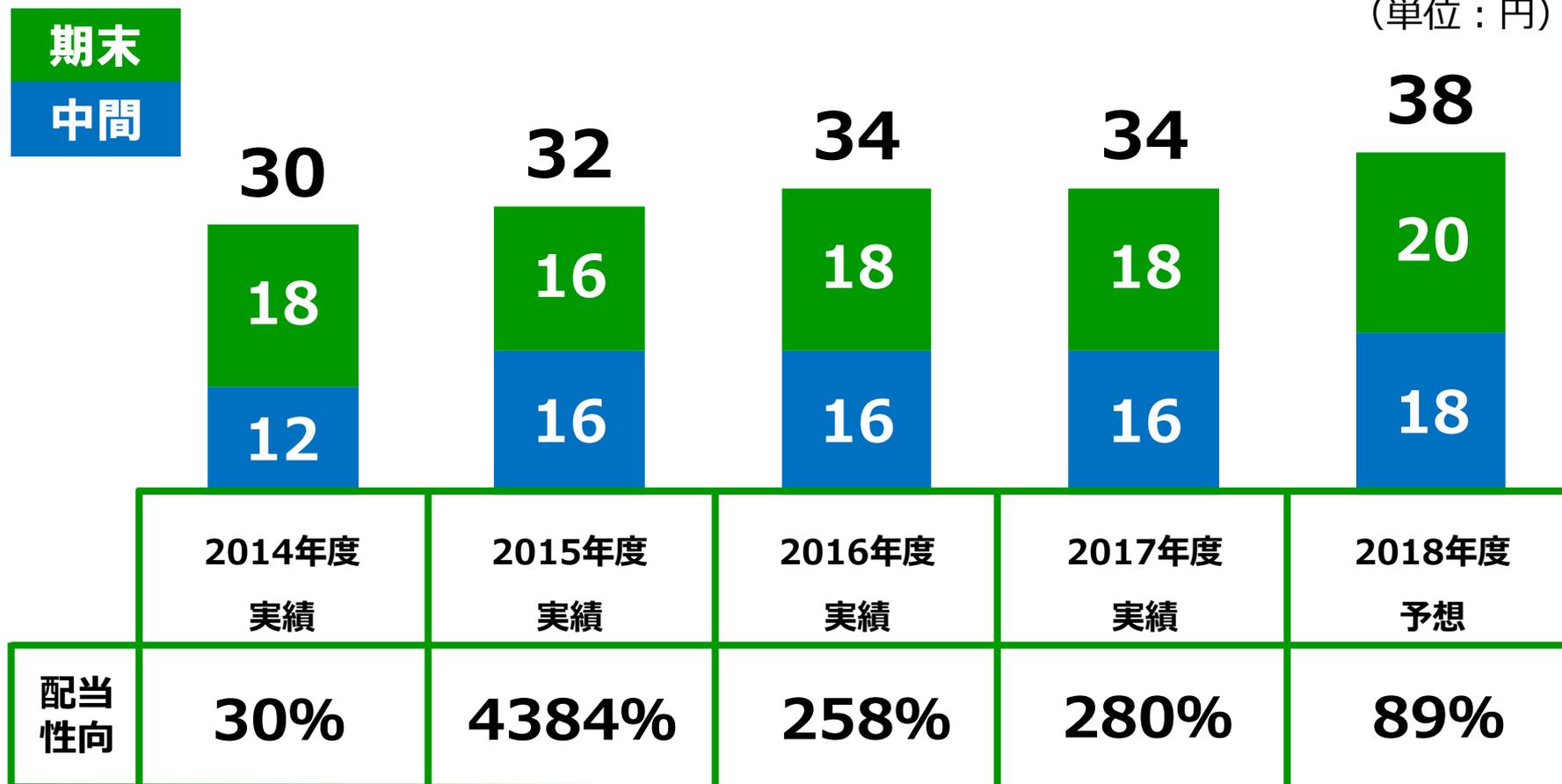
このプレゼンテーションで述べられている業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、さまざまなリスクや不確定な要素が含まれております。従って実際の業績は予測と大きく異なることがあります。

これらのリスクや不確定要素には以下のようなものがあります。

- 主要市場の経済情勢や消費動向
- 為替相場的大幅な変動
- 資本市場における相場的大幅な変動
- 主要製品市場における需給関係の急激な変動
- 技術革新、顧客ニーズの変化 等

【参考資料①】 配当及び配当性向

(単位：円)



【参考資料②】 主要得意先 売上高 上位20社

2016年度通期

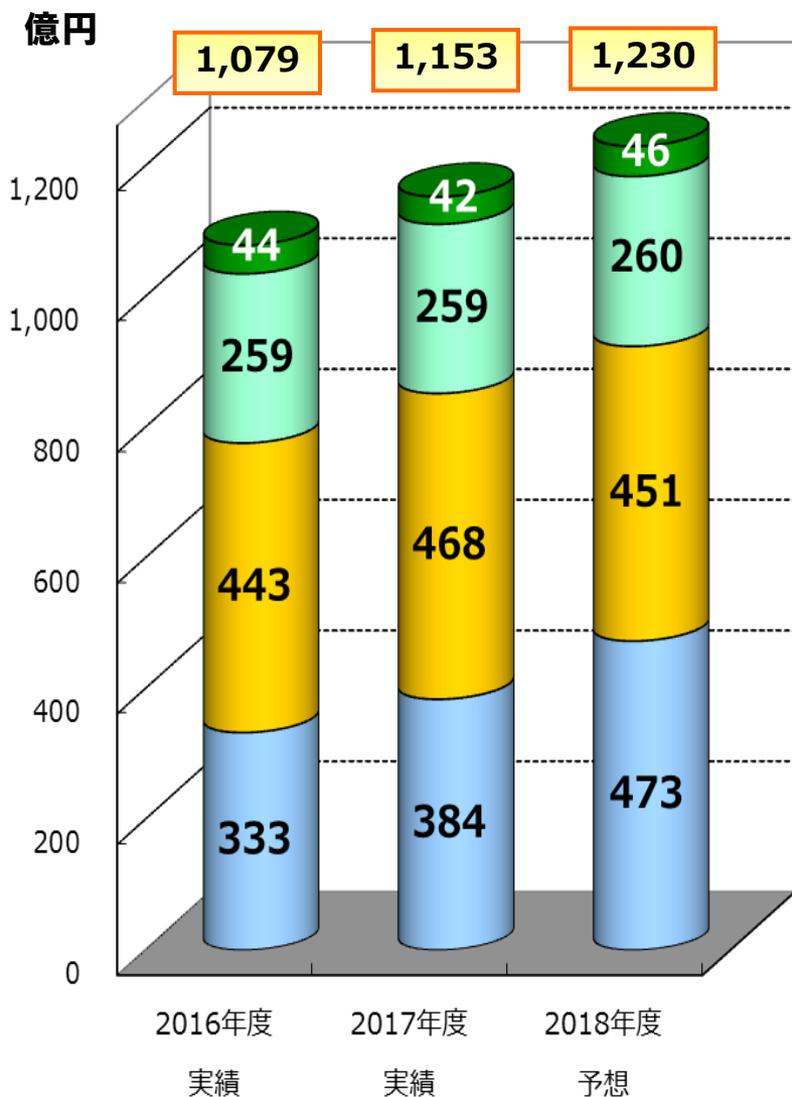
2017年度通期

	上位10社	上位11~20社
顧客名 (順不同)	キャノングループ	ミネベアミツミグループ
	NECグループ	三菱電機グループ
	パナソニックグループ	タムラ製作所
	リコーグループ	TOTO
	OKIグループ	日立グループ
	マキタ	アオイ電子
	荏原製作所	オリンパス
	デンソー	安川情報システム
	HON HAI (台湾)	シマノ
	QUANTA (台湾)	COMPAL (台湾)
売上高 構成比	上位10社累計 55%	上位20社累計 63%

	上位10社	上位11~20社
顧客名 (順不同)	キャノングループ	シマノ
	NECグループ	三菱電機グループ
	パナソニックグループ	タムラ製作所
	リコーグループ	TOTO
	OKIグループ	日立グループ
	マキタ	コニカミノルタ
	ミネベアミツミグループ	デンソー
	荏原製作所	オリンパス
	HON HAI (台湾)	セコム
	QUANTA (台湾)	COMPAL (台湾)
売上高 構成比	上位10社累計 54%	上位20社累計 64%

※ 顧客名の 青文字 は海外企業

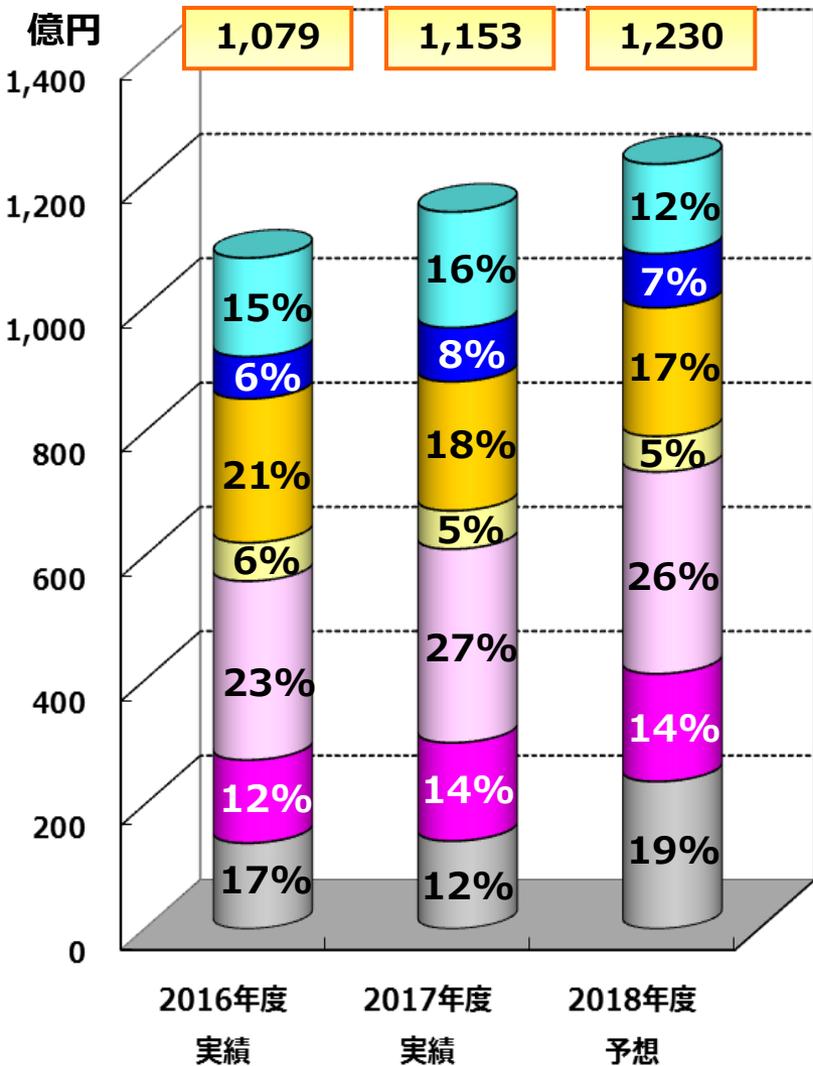
【参考資料③】 品目別売上推移



	品 目	前年度 v s 今回予想	前年比
	製 品	【17実績】 携帯電話データバックアップ端末減 【18予想】 電動工具用スイッチ増 絶縁監視装置増	95% (110%)
	電子機器	【17実績】 複写機用操作部ユニット減 複写機用HDD増 【18予想】 複写機用操作部ユニット減 複写機用HDD増	100% (100%)
	電子部品	【17実績】 P C用キャパシタ増 【18予想】 P C用バッテリー減 P C用キャパシタ減	106% (96%)
	半導体	【17実績】 D S C用S o C増 事務機用メモリ増 車載用メモリ増 【18予想】 調達マネジメントビジネス増 車載情報端末用メモリ増 複写機用メモリ減	115% (123%)

【参考資料④】

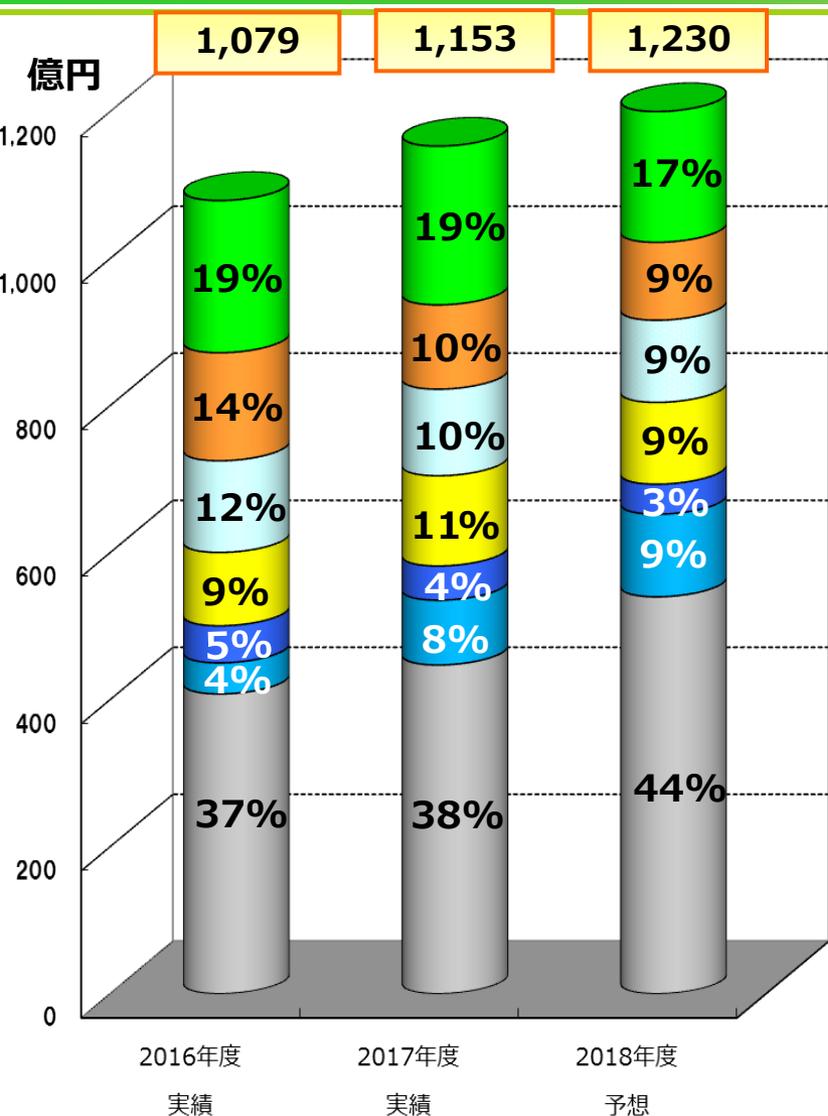
市場分野別売上構成率推移



市場分野	前年度 v s 今回予想	前年比
PC・周辺機器 モバイル端末	【17実績】PC用キャパシタ増 PC用SSD増 【18予想】PC用バッテリー減	117% (77%)
DSC	【17実績】DSC用SoC増 【18予想】DSC用メモリ増	128% (100%)
事務機器	【17実績】複写機用HDD増 複写機用操作部ユニット減 【18予想】複写機用HDD増 複写機用操作部ユニット減	90% (100%)
セキュリティ & ライフ	【17実績】住宅設備用電子部品増 【18予想】太陽光発電用パワコン減	100% (93%)
産業・社会 インフラ	【17実績】半導体製造装置用制御機器増 情報端末用電子機器増 【18予想】半導体製造装置用制御機器増 ネットワーク機器増	108% (104%)
車載	【17実績】車載情報端末用メモリ増 【18予想】車載情報端末用メモリ増	118% (110%)
その他	【17実績】セットトップボックス用メモリ増 【18予想】調達マネジメントビジネス増	102% (168%)

【参考資料⑤】

仕入先別売上構成率推移



仕入先	前年度 v s 今回予想	前年比
ルネサスエレクトロニクス	【17実績】 D S C用 S o C 増 【18予想】 D S C用マイコン減	104% (96%)
NECグループ	【17実績】 複写機用操作部ユニット減 【18予想】 複写機用操作部ユニット減	78% (92%)
パナソニックグループ	【17実績】 太陽光発電用パワコン減 【18予想】 P C用バッテリー減	94% (95%)
トーキン	【17実績】 P C用キャパシタ増 【18予想】 P C用キャパシタ減	123% (91%)
住友電工グループ	【17実績】 携帯基地局用光ケーブル減 【18予想】 携帯基地局用光モジュール減	92% (88%)
ウエスタンデジタルグループ	【17実績】 複写機用 H D D 増 P C用 S S D 増 【18予想】 複写機用 H D D 増 セットトップボックス用メモリ減	209% (127%)
その他	【17実績】 事務機用メモリ増 車載用センサ I C 増 【18予想】 調達マネジメントビジネス増 車載用センサ I C 増	110% (121%)